

2. 車両系サイン

1) 車両系サインの現状

(1) サインの種類

- ① 経路案内標識…[目的地までの経路を案内する標識で主として青地に白色文字・矢印を使用]
 ・道路管理者が設置する経路案内標識については、犬山城の表記があるものと、表記がないものみられ、犬山城の表記のある経路案内標識は、犬山遊園駅西と出来町の交差点に設置されている。(設置状況図のA1)



▲経路案内標識(犬山城表記あり)



▲経路案内標識(犬山城表記なし)

- ② 観光案内標識…[観光地景観向上補助金事業(平成4年度)により整備]

- ・観光案内標識についても、犬山城の表記があるものと、表記がないものがみられ、犬山城の表記のある観光案内標識は、(主)春日井各務原線及び国道41号に設置されており、五郎丸の交差点付近に多くみられる。(設置状況図のa1)



▲観光案内標識(犬山城表記あり)



▲観光案内標識(犬山城表記あり)



▲観光案内標識(犬山城表記なし)

- ③ 地点案内標識…[著名地点への案内等を行う標識で主として白地に青色文字・矢印を使用]

- ・犬山市の全市的な玄関口を表すウェルカムサインが国道41号とライン大橋の袂に設置されている。(設置状況図のB1)



▲ウェルカムサイン(国道41号)



▲ウェルカムサイン(ライン大橋の袂)

- ・犬山城を案内する地点案内標識が、(主)春日井各務原線沿いや四日市交差点、郷瀬川沿いに設置されている。なお、数種類のタイプが見られるが、いずれも見つけにくく、分かりにくい。(設置状況図の B3)



▲地点案内標識(春日井各務原線)



▲地点案内標識(四日市交差点)



▲地点案内標識(郷瀬川沿い)

- ・(主)春日井各務原線と国道 21 号交差点付近には、道路管理者が設置した犬山城の案内標識が設置されている。



▲国道 21 号に設置されている犬山城案内標識



- ・市役所、文化史料館等の著名施設付近には地点案内標識が設置されている。(設置状況図のB4)
- ・観光駐車場を案内するサインについては、常設では体育館近傍の1箇所だけに設置されている。それ以外は仮設の立て看板タイプの案内板が設置されている。



▲市役所案内標識



▲文化史料館案内標識



▲常設の駐車場案内標識(体育館近傍)

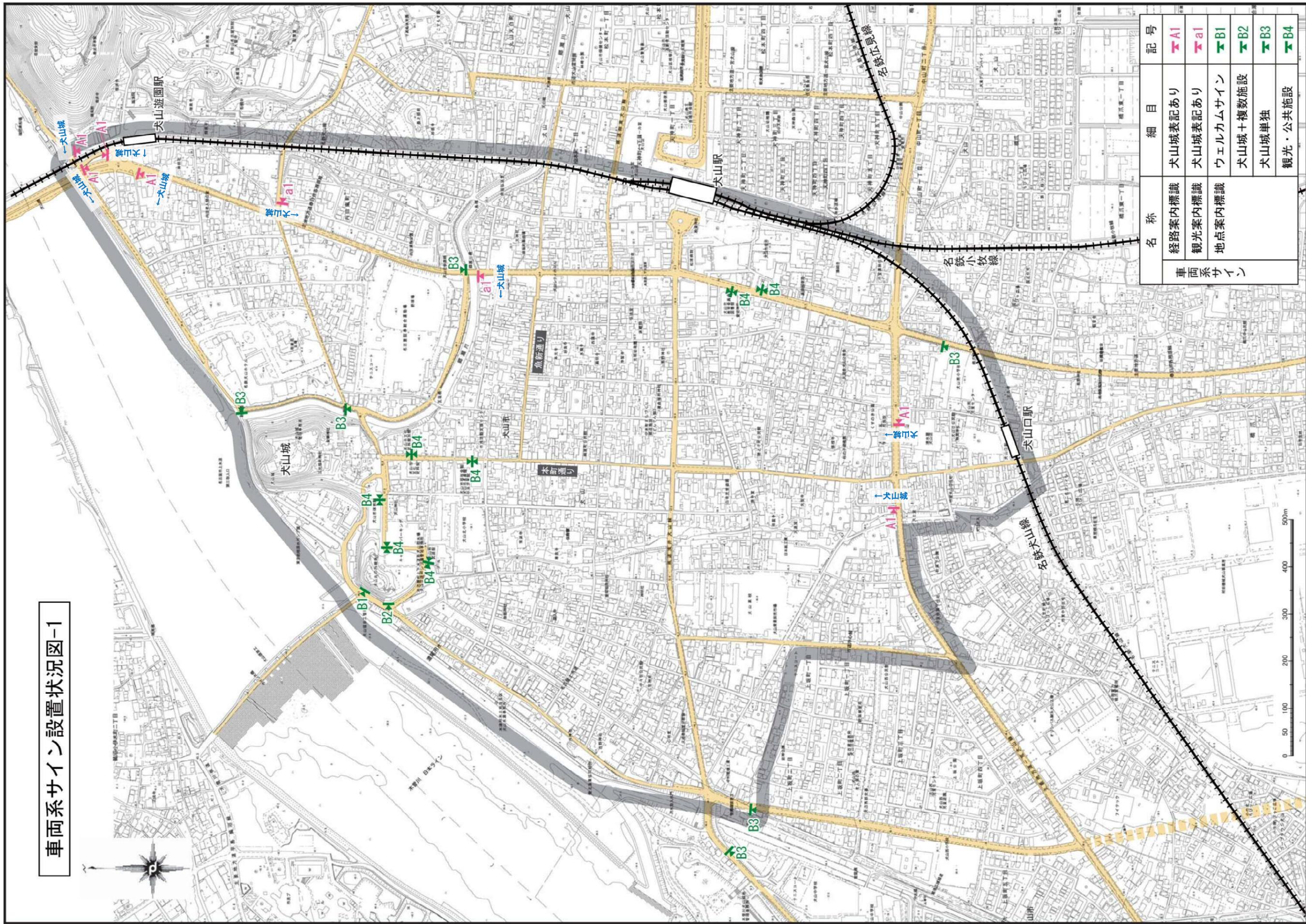


▲仮設の駐車場案内板

(2) 車両系サインの課題

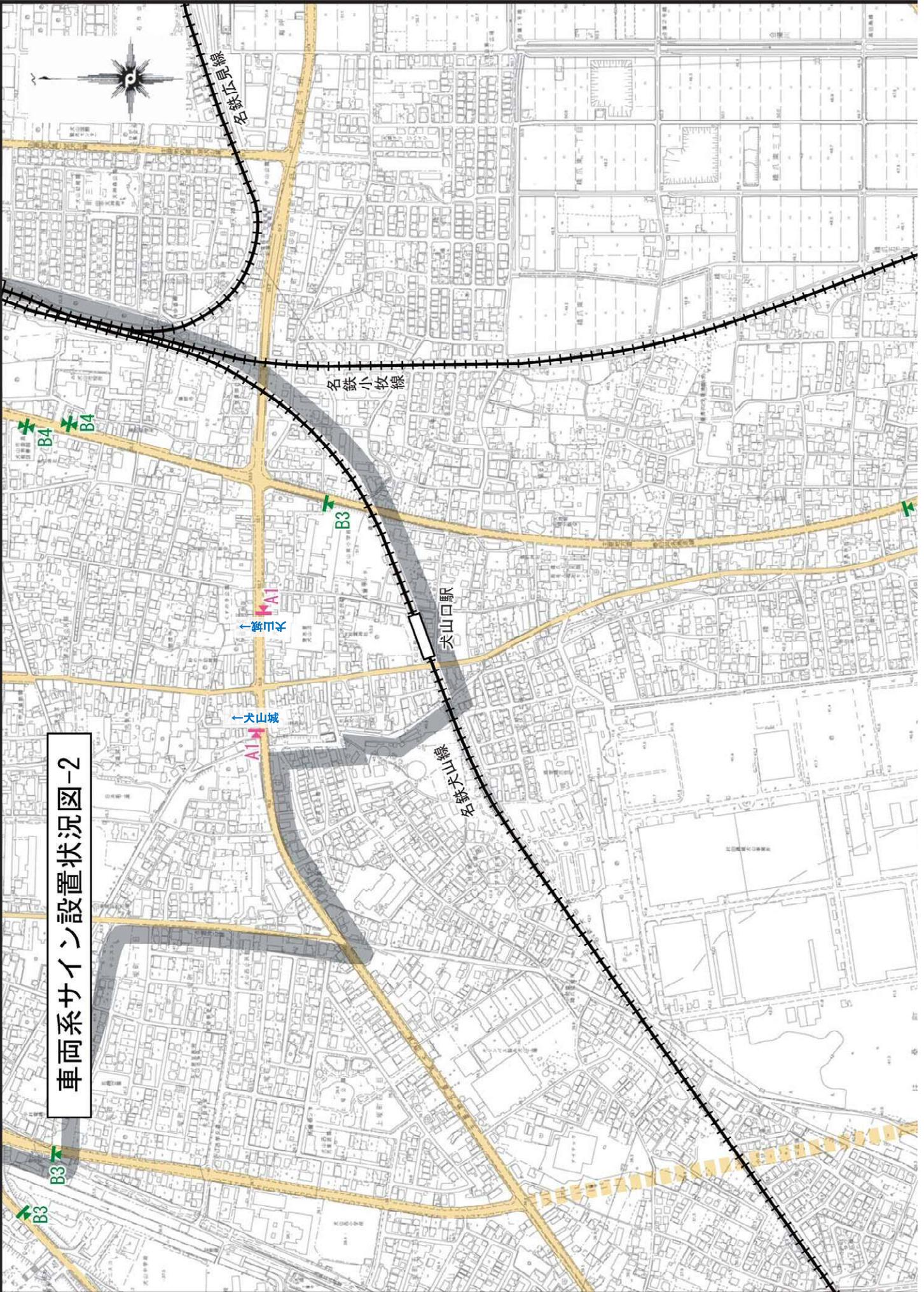
- ・城下町地区への車の進入を減らすためには、車利用者を観光駐車場に誘導する案内サインの設置が望まれる。
- ・仮設の駐車場案内板が乱立すると景観が悪くなるとともに、歩行者の安全な通行を妨げる要因となるため、常設の案内サインの設置を検討する必要がある。

車両系サイン設置状況図-1



名称	細目	記号
車両系サイン	経路案内標識	→A1
	観光案内標識	→a1
	地点案内標識	→B1
		→B2
		→B3
		→B4

車両系サイン設置状況図-2



2) 車両系サインの配置計画

交通計画で提言した観光客自動車交通の誘導方針に沿って、国道 41 号線から観光駐車場までの経路に以下の車両系サインを設置するものとする。

<誘導経路と誘導施設>

利用経路：「国道 41 号」から「犬山富士線」または「春日井各務原線」を利用

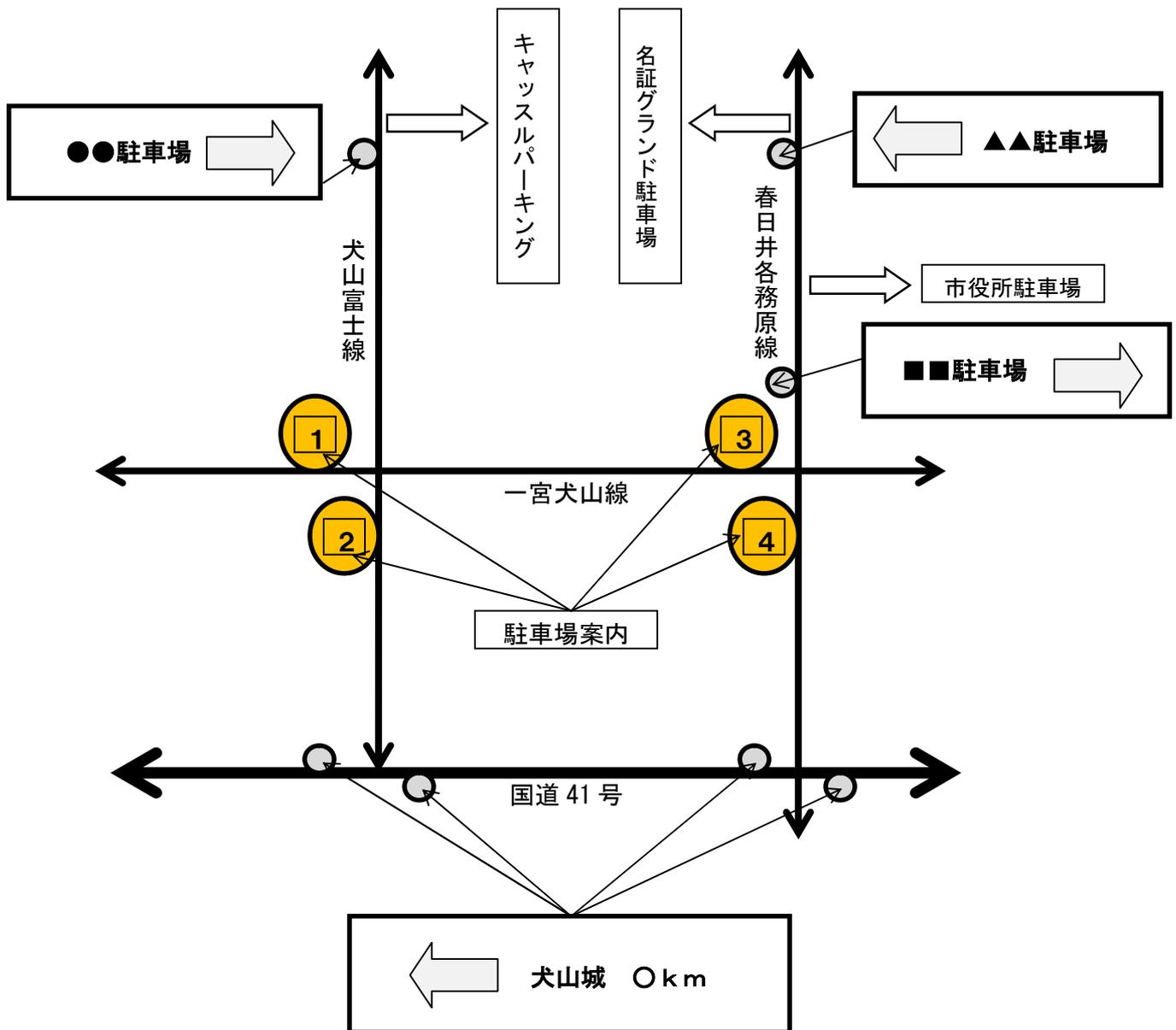
観光駐車場：キャッスルパーキング、名証グランド駐車場、市役所駐車場

<車両系誘導サインの種類>

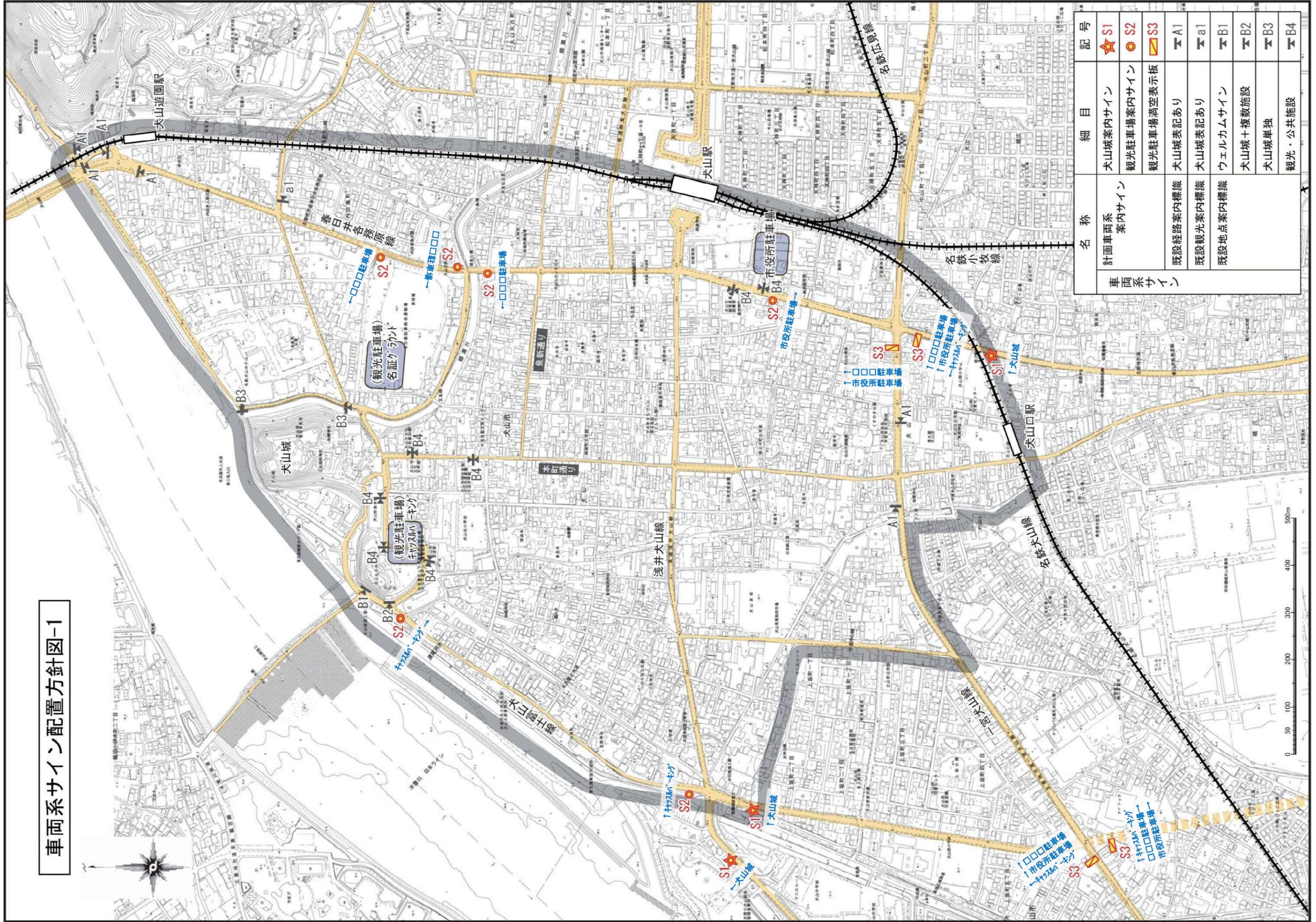
○国道 41 号から一宮犬山線間に「犬山城」への案内板を設置。

○一宮犬山線に駐車場案内板（空有・混雑・閉鎖を表示）を設置。

○駐車場への取り付け道路交差点付近に「〇〇駐車場」への案内板を設置。

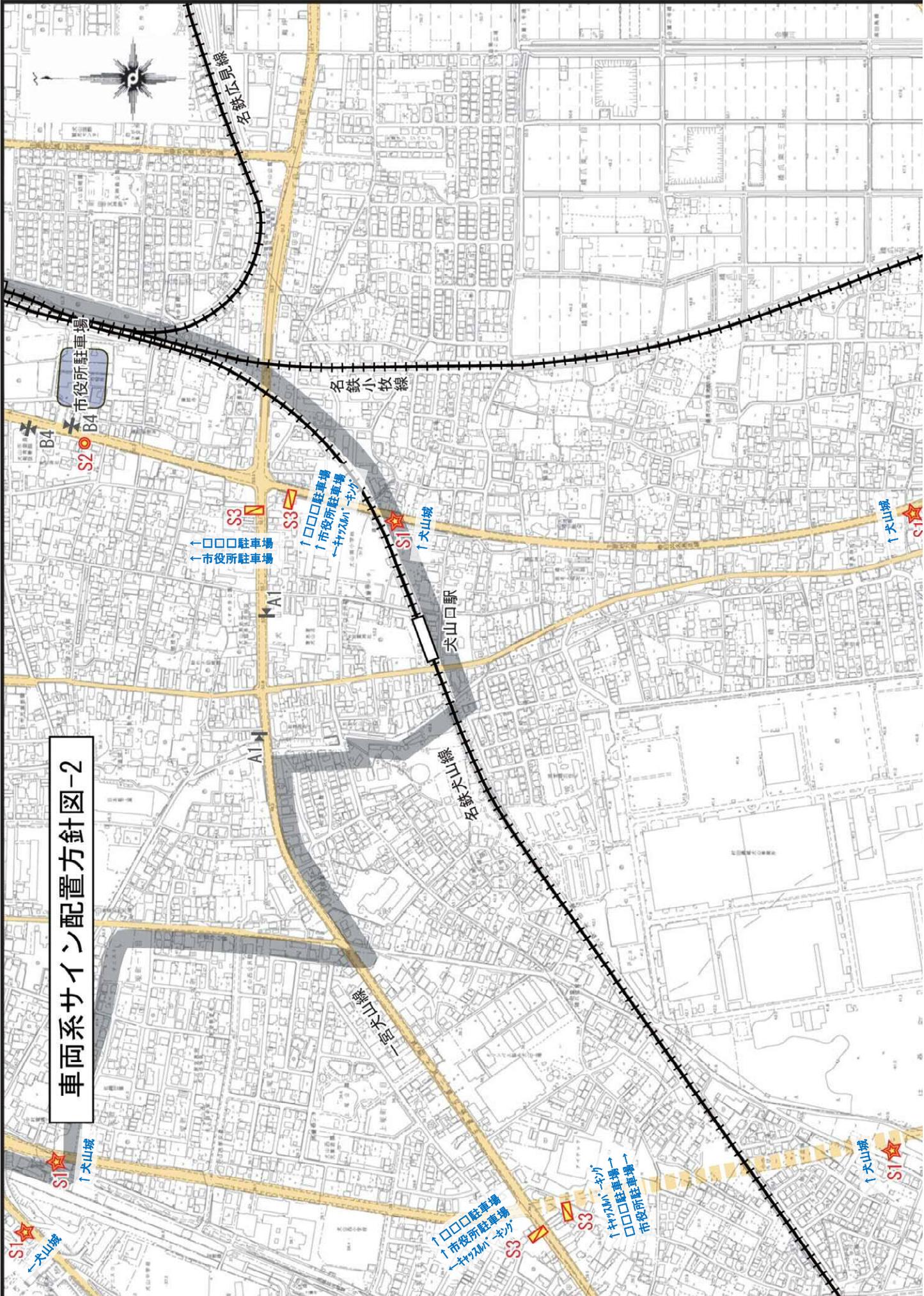


車両系サイン配置方針図-1



名称	細目	記号
計画車両系案内サイン	犬山城案内サイン	☆ S1
	観光駐車場案内サイン	● S2
	観光駐車場満空表示板	▭ S3
既設経路案内標識	犬山城表記あり	◀ A1
	犬山城表記あり	◀ a1
	ウエルカムサイン	◀ B1
	犬山城+複数施設	◀ B2
既設地点案内標識	犬山城単独	◀ B3
	観光・公共施設	◀ B4

車両系サイン配置方針図-2



3) 車両系サインのデザイン検討

(1) 他都市の車両系サインの事例

他都市でオリジナルの車両系誘導サインを設置している事例を調査したところ、歴史的な地区では、黒又は茶色の地に白色文字の案内板を設置している例が多い。

また、小牧市では小牧山をデザインモチーフに取り入れた公共サインを設置することにより、小牧らしさをPRする取組みが行われている。

【他都市の車両系誘導サインの事例】



(2) 駐車場案内システムの事例

駐車場案内システムは、昭和 60 年代から平成初期にかけて、旧建設省が国庫補助事業としたことで多くの都市で導入され、近くでは名古屋市に設置されていました。

この駐車場案内システムは、当初から車が通過する時の一見では、「分かりにくい」と不評がでていました。また、導入した多くの都市でシステムを更新する時期を向かえており、維持費も札幌市の例では年間 1800 万円の費用が掛かることから、現在では、この駐車場案内システムを廃止する都市が増えており、名古屋市でも最近になって廃止されました。

他都市の駐車場案内システムの満空表示方法を調べてみると「満」、「混」、「空」を漢字一文字や色で案内している例が多く見られた。

今回の調査した満空表示の事例の中では、高速道路の休憩施設情報板が漢字二文字（満車・混雑・空有）で表示しており、最も分かりやすい表示方法と思われる。



▲補助事業で整備された駐車場案内板（現在は、廃止する自治体が増加している）



▲秋葉原の駐車場案内板



▲高速道路の休憩施設混雑情報板

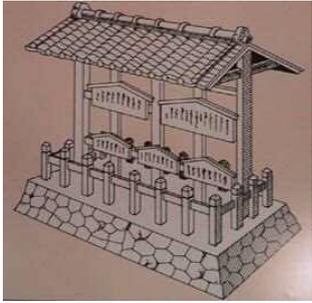


▲駐車場の残数を表示した案内板（海外事例）

(3) 車両系サインのデザイン案

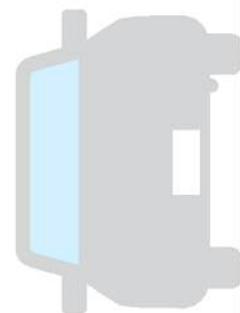
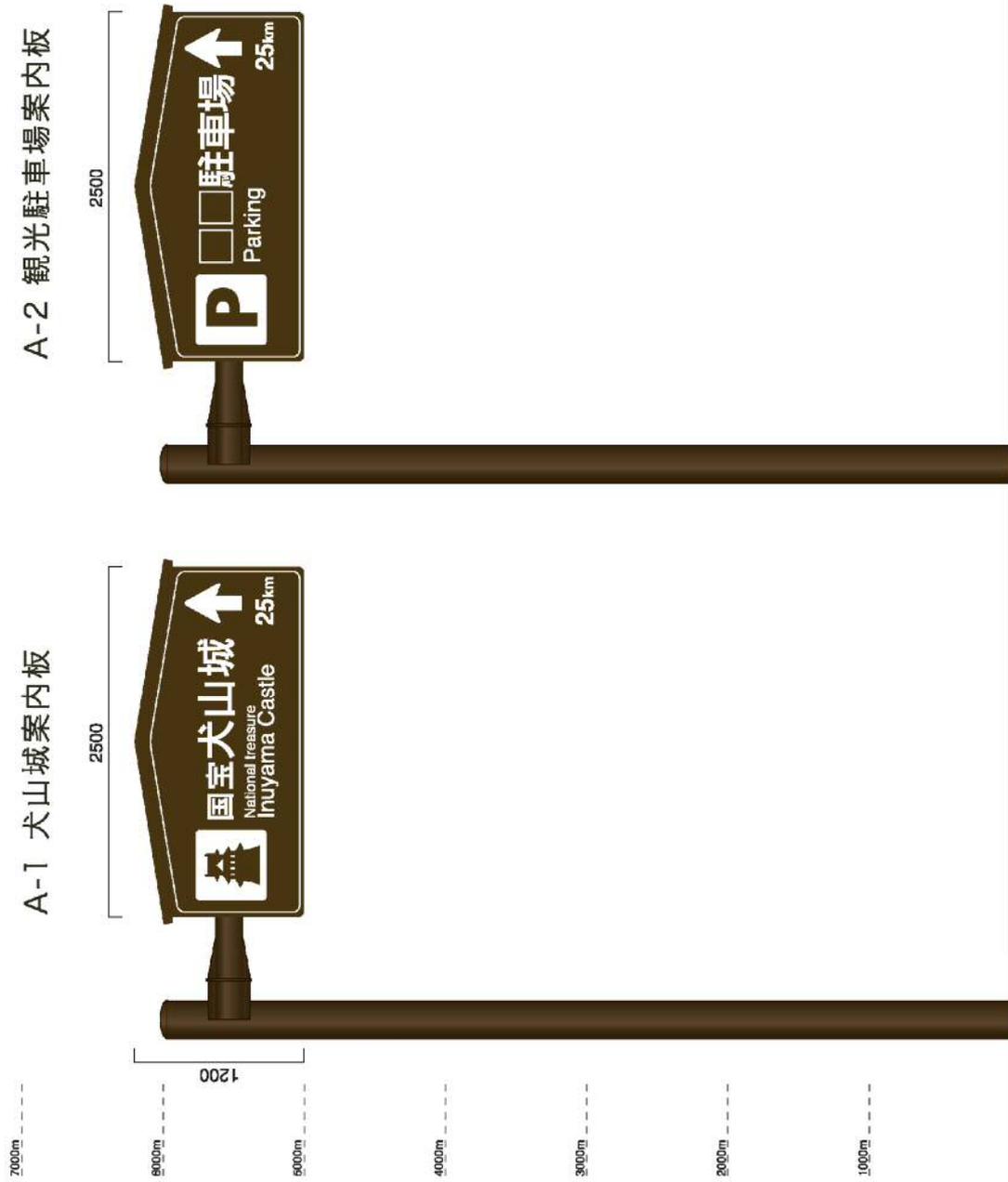
車両系サインは、まちを印象づける点景物として機能を持たせることにより、犬山らしさをPRする効果が期待されるため、歩行者系サインと同様にデザインテーマを以下のように設定して、デザイン比較案の作成を行った。

【車両系サインのデザインテーマ】

テーマ	モチーフ	
<p>【A案】</p> <p>城下町内には、「札の辻」と呼ばれる高札場が設けられていたことから、高札をモチーフにしたサインをデザインする</p>	 <p>▲高札場</p>	 <p>▲高札</p>
<p>【B案】</p> <p>木曾川から眺めた犬山城のシルエットは犬山市を代表する景観であり、この景色をモチーフにしたサインをデザインする</p>	 <p>▲木曾川から眺めた犬山城</p>	
<p>【C案】</p> <p>犬山城周辺は桜の名所、桜は市の花でもあることから、桜をモチーフにしたサインをデザインする(犬山さくらねっとうおーく構想を踏襲)</p>	 <p>▲犬山城と桜</p>	

犬山市◆車両系案内サイン◆比較案

A案



犬山市◆車両系案内サイン◆比較案

R案

/ 17

7000m

330

6000m

1000

6000m

4000m

3000m

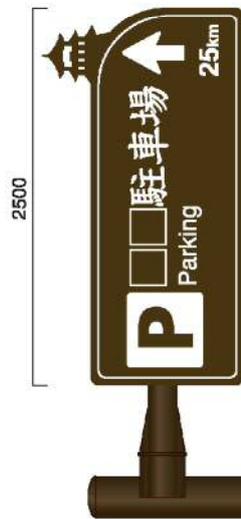
2000m

1000m

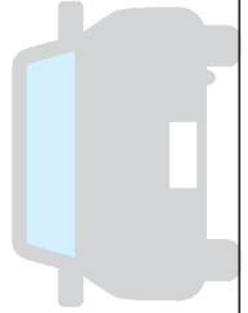
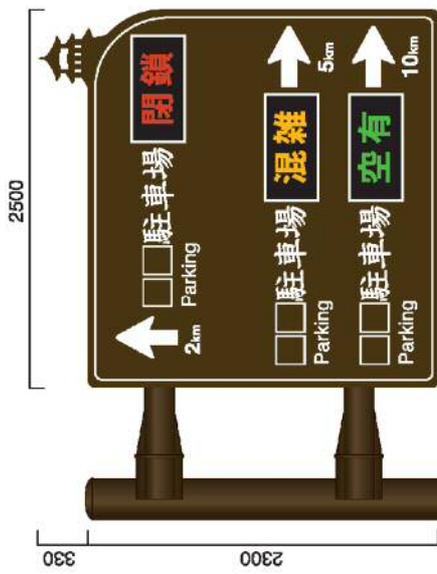
A-1 犬山城案内板



A-2 観光駐車場案内板



B 観光駐車場満車案内板



B 観光駐車場満車案内板

